

『令和4年10月24日開催』

企業会計決算審査特別委員会  
委員長報告

【令和4年12月定例会】

委員長 古川 九一

先ほど議長から報告がございましたとおり、委員長に不肖私が、副委員長に金子幸弘委員がそれぞれ互選されておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、去る9月定例会において当委員会に審査を付託され、閉会中の継続審査となっております議案第105号「令和3年度川口市水道事業会計決算認定について」、議案第106号「令和3年度川口市下水道事業会計決算認定について」及び議案第107号「令和3年度川口市病院事業会計決算認定について」の以上3議案につきまして、10月24日に委員会を開催し、慎重に審査いたしましたので、以下、その審査概要と結果を審査順序に従いご報告申し上げます。

初めに、「病院事業会計決算」を議題といたしましたところ、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金を除いた場合の経常収支比率について、収益向上に向けた取り組みについて、窓口負担未収金の件数及び金額について等、質疑応答の後、採決の結果、起立者全員で認定することに決しました。

続きまして、「水道事業会計決算」を議題といたしましたところ、給水収益にかかわり、前年度と比べ増収となった要因について、他会計補助金にかかわり、水道料金のうち基本料金を免除した人数について、業務費にかかわり、未収金回収業務委託の実績について等、質疑応答の後、討論へと移行し、まず、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の暮らしは大変な状況であったなか、水道料金の改定を実施し、平均改定率25.01パーセントの値上げとなっていることに加え、消費税を水道料金に転嫁していることは、市民の暮らしをより厳しいものとしており、反対するとの意見。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による資材調達の遅れなど、様々な影響を受けながらも、約26億6,000万円の利益を出し、事業を運営していることは評価する点である。老朽化した水道管の更新が急務となっているなか、本市の老朽化した管路の割合は全国平均よりも低く、事業が健全に運営できていることから、賛成するとの意見がそれぞれ述べられた後、採決の結果、起立者多数で認定することに決しました。

最後に、「下水道事業会計決算」を議題といたしましたところ、地区別の下水道処理人口普及率について、管渠費にかかわり、マンホール浮上防止調査委託の調査結果について、管渠建設費にかかわり、東川口駅周辺浸水対策事業の進捗状況について等、質疑応答の後、採決の結果、起立者全員で認定することに

決しました。

以上で報告を終わります。